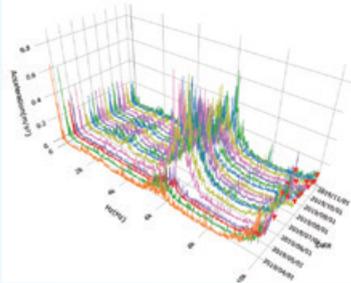


TOPICS

緊急事態宣言の発出とともに始まった2020年度上半期。これを「ニューノーマル」としてピンチをチャンスに変え、さらなる進化につなげています。

TR-COMのコンセプトが新常态にマッチ

「回転機械にセンサを取りつけるだけで離れたところからでも運転状態をモニタリングできる」をコンセプトに2018年度よりサービスを開始したTR-COMも、コロナ禍によりその長手を理解、実感していただきやすくなりました。



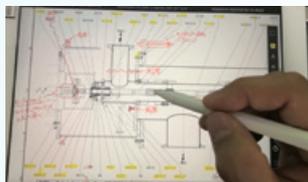
また2020年度には、取得できる周波数レンジを10,000Hzまで拡大したこと、数多くのデータが集まってきたことでより高度な解析ができるようになり、一般的には難しいとされる「故障予知」が可能となりました。さらにポンプのプロとして、その先のソリューションまで提供することでより質の高いサービスをお届けしています。

こうした実績などが認められ、2020年8月には公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会の「TPM優秀商品賞実効賞」を受賞しました。



デスクワークのオンライン化が加速

「紙と印鑑をなくす」を目的に、稟議書をはじめ人事申請関係、勤怠申請関係など、さまざまな書類のオンライン化が進みました。



またポンプの設計も、IT機器の導入により「いつでも、誰でも、どこでも」できるシステムを整え、さらなる生産性アップ、新しい価値の創造へとつなげています。

経産省「グローバルニッチトップ(GNT)企業100選」



世界市場のニッチ分野で勝ち抜いている企業に認定される経済産業省の「グローバルニッチトップ(GNT)企業100選」2020年版に当社が認定されました。

認定されたのは「海水淡水化プラント向け大型ポンプ」で、当社の長年の実績と高い技術力が評価されたものです。今後も、さらなる技術力向上に励み、世界の水不足の解決にポンプメーカーとして貢献してまいります。

会社概要 (2020年9月30日現在)

商号	株式会社 西島製作所
本社所在地	大阪府高槻市宮田町一丁目1番8号
創業	1919年8月1日
設立	1928年4月20日
資本金	1,592,775,030円
従業員数	連結1,692名 単体932名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬開催
基準日	定時株主総会：3月31日 期末配当金：3月31日 中間配当金：9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して 定めた日

株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話：0120-094-777 (通話料無料)

公告の方法	電子公告により当社WEBサイトに掲載 ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
-------	-----------------------------------------------------------------------

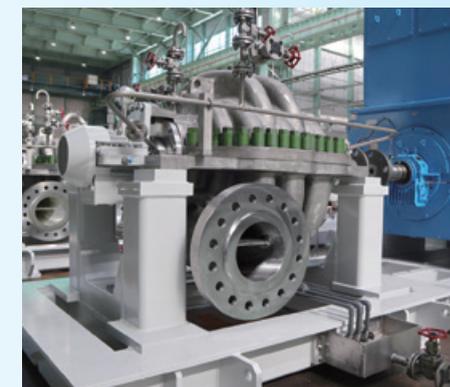
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
---------	---------------

株主の皆様へ

第140期 中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで

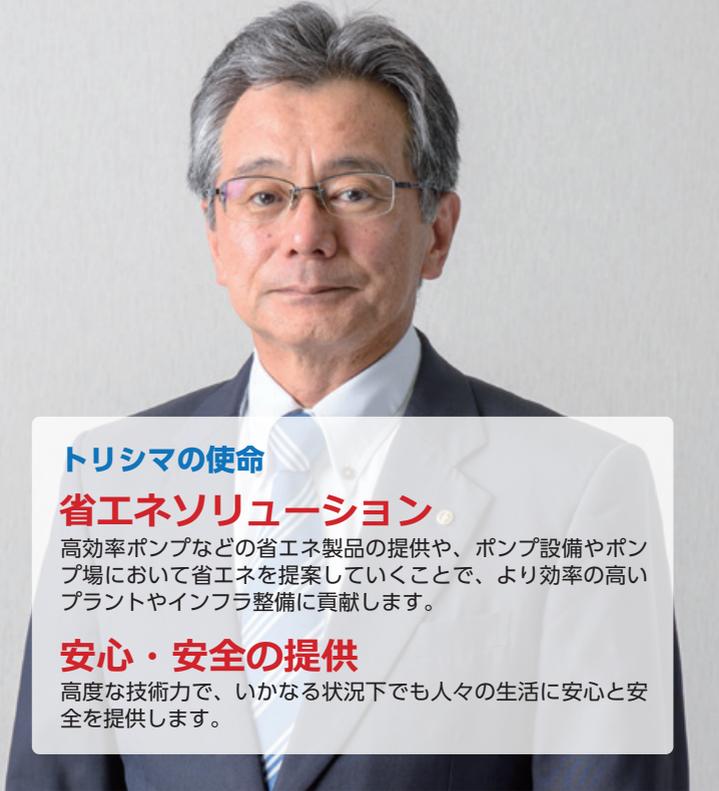
TEAMWORK
DIVERSITY
PROFESSIONAL
CLARITY
ENTHUSIASM
INNOVATION
EVOLUTION



海水淡水化プラント向けRO高圧海水供給ポンプ

株式会社 西島製作所

証券コード：6363



トリシマの使命

省エネソリューション

高効率ポンプなどの省エネ製品の提供や、ポンプ設備やポンプ場において省エネを提案していくことで、より効率の高いプラントやインフラ整備に貢献します。

安心・安全の提供

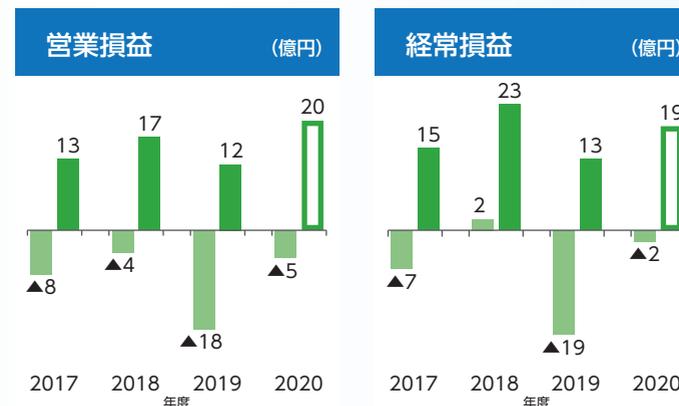
高度な技術力で、いかなる状況下でも人々の生活に安心と安全を提供します。

2020年度上半期ハイライト

(百万円)

	2019年度 上半期	2020年度 上半期	増減	
			額	%
受注高	23,664	26,832	+3,168	13.4
売上高	17,572	18,221	+649	3.7
営業損益	▲1,814	▲507	+1,307	—
経常損益	▲1,870	▲239	+1,631	—
親会社株主に帰属する 四半期純損益	▲2,440	▲433	+2,007	—

■ 上半期 ■ 通期 □ 通期予想



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび当社グループ第140期中間決算(2020年4月1日から2020年9月30日まで)を終えましたので、ここに第140期中間報告書をお届けいたします。

また、中間配当金につきましては、1株当たり9円とさせていただきます。

今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

2020年12月

代表取締役社長 原田耕太郎

2020年度第2四半期は、新型コロナウイルス感染症がまだまだ広がりを見せる中においても、エッセンシャルワーカーとして着実に職務にあたり、前年同期比で受注及び売上は増加。営業利益以下も、前年同期に計上した一過性の減益要因も今期はほぼ発生しなかったことと販管費の減少により大きく改善しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、以下の通り、海外がもっとも懸念されるところではありますが、国内官需民需がカバーし、通年度の受注は例年通りを見込んでいます。

需要先別新型コロナの影響

○官公需

ほぼ影響なし。プロジェクトも計画通り進行。水害対策向けポンプの改良を進めるなどエッセンシャルワーカーとしての使命をしっかりと果たす。

○民需

業種によって違いはあるが、全体的に民間企業の設備投資は抑制傾向にあり、エコポンプは受注増が難しい状況。一方、省人化サービスの需要の高まりにより、TR-COMIは堅調に進捗。

○海外

どこの国においてもインフラを支えているため他業種に比べれば影響は少ないほうだが、とくに中東や欧米では外出規制が厳しく、サービス需要に影響あり。中国の生産は回復傾向。

(百万円)

	2019年度 実績	2020年度 計画
受注高	48,824	46,000
売上高	47,126	47,000
営業利益	1,220	1,700
経常利益	1,324	1,600
親会社株主に帰属する 当期純利益	543	1,200